

中・高生の皆さんに応募いただく黒板アートの全国大会「日学・黒板アート甲子園®2020」 新・応募締切日を9月23日(水)に決定



黒板-ホワイトボードメーカーの日学株式会社（東京都品川区 代表取締役社長 吉田朋弘）は、6回目の開催となる「日学・黒板アート甲子園®2020」の応募締切日を、緊急事態宣言解除後、全国の学校が当面の間授業を優先する状況だと考え、8月下旬以降に延期していましたが、この度、9月23日(水)を新・応募締切日に決定しました。

今大会は黒板アート、白板アートの他に、特別企画として黒板アート 動画部門を実施します。詳細は大会サイトをご覧ください。

■ 主なスケジュール ■

- 新・応募締切日：9月23日(水) ※当初の応募期間は3月18日～4月8日
- 一次審査：10月上旬に実施予定 ※応募作品数によっては実施しない場合有
- 最終審査会：10月11日(日)
- 結果発表：10月の第4週、20日の週、を予定



日学・黒板アート甲子園 大会サイト
<http://kokubanart.nichigaku.co.jp/>

<応募締切日の大幅延長に伴う活動>

この間、5・6月に個人で参加できる特別企画「コロナにめげない、黒板アートでエール」、7月20日に埼玉県立朝霞西高校の依頼を受けた黒板アートのレクチャー、を実施しました。

朝霞西高校レクチャーは、秋の文化祭の代わりに、黒板アートなど4部門のコンペを実施する校内芸術祭を企画された学校から協力依頼を受け、鈴木らなさんを含む黒板アーティスト2名をコーディネートし、240人の生徒さんに実施しました。

生徒さんは黒板アート甲子園の作品を見て、レベルが高過ぎると思われたようです。

黒板アートの起源の1つが黒板の落書きで、過去のユニークな応募作品を見せつつ、落書きを繰り返して洗練された作品が入賞につながる旨をお話しました。落書きについては、英プリマス大学の実験で「落書きで感情が刺激され、記憶力が高まる」という結果がでています。

(参考情報 “What does doodling do?” By Jackie Andrade. Applied Cognitive Psychology, Vol. 23, No. 3, Feb. 26, 2009)



黒板アート甲子園2019応募作品
(左上は白板アート部門)

朝霞西高校を含め、この夏休みに黒板アートに挑戦する生徒さんには、黒板アート制作を楽しんでもらい、それが自身の成長、黒板アート甲子園の応募につながれば幸いです。



黒板アートでエール 応募作品



黒板アートでエール 米子松蔭高校(鳥取県)生徒さんの応募作品



黒板アートレクチャー



鈴木らなさん講義

<特別メッセージ>

今回、黒板アート甲子園とご縁深くなった老若男女に親しまれている方からメッセージをいただきます。手紙を書いて人に思いを伝える事を大切にしている方で、只今メッセージとイラストを合わせた黒板アートを制作中です。8月5日(水)、大会サイト・Twitterで公開する予定です。是非ご覧ください。



黒板アート甲子園は累計700近い作品応募、3600人を超える生徒さんに参加いただきました。

当社は今後も、黒板アート甲子園の開催、黒板アートの普及を通じ、手で書く描く行為の価値を広め、彩豊かな黒板アートを多くの方々に観て共感いただき、若者達の活躍の場の拡大・教育-文化の発展に貢献します。



2018年発売 日東書院
黒板アート甲子園作品集

【問い合わせ先】

◆大会Twitter <https://twitter.com/kokubanartk2015>

日学株式会社 〒140-0014 東京都品川区大井1-49-15YK-17ビル5F TEL:03-6429-7070(FAX:下4桁2520)

担当:管理本部 広報 下村 尚明 E-mail:shimomura.n@nichigaku.co.jp